



平成29年7月
特区民泊スタート



平成29年9月4日

エリアマネジメントの民間開放

北九州市エリアマネジメント事業の目的

国家戦略特別区域法上の国家戦略道路占用事業を実施する北九州市内の地域団体が、道路空間を活用したイベント等を開催し、**M I C Eの魅力向上及び、まちの賑わい創出を図ることで国内外の人の交流やインバウンドの増加を図る。**

これまでの実績

- 実施エリア：都心、地域拠点等のエリア
(小倉2箇所、門司港2箇所、八幡東 1 箇所)
- 開催日数：**365日中 219日**
(5箇所のどこかで事業を開催した日数)
- 来場者数：**約170万人**
- 事業主体：目的に資する活動を実施する
地域団体等



 今回の実施箇所：八幡西（黒崎副都心）



黒崎副都心の追加により、地域団体によるエリアマネジメントがさらに加速！

追加案件の概要

黒崎地区の概要

- 黒崎副都心（JR黒崎駅は九州で6位の乗車人員）に位置する商業地域
- 駅北側には安川電機などの世界的な企業、南側には文化交流・国際交流の拠点が立地

➡ **新たなにぎわいが生まれるポテンシャルを秘めたエリア**

今回追加案件（2件）

①カムズ イノベートプロジェクト（カムズ通り）

〈実施団体（民間構成員）〉

ツグタウン
tugu.town黒崎実行委員会

〈実施内容〉

- ・ 商店街アーケードでオープンカフェやマルシェを開催し、交流や憩いの場を創出
- ・ 新たなにぎわいと活気のある通りを目指す



②story of pedestrians（ストーリー オブ ペデストリアンズ）（黒崎駅ペデストリアンデッキ）

〈実施団体（民間構成員）〉

黒崎コミュニティ

〈実施内容〉

- ・ 交通の結節点である黒崎駅のペデストリアンデッキ上でオープンカフェやマルシェを開催
- ・ これまで通行するだけであった人を留め、商店街や周辺施設への新たな人の流れをつくる



各事業の相乗効果により、黒崎地区に新たな人の流れをつくる

実施内容〈カムズイノベートプロジェクト〉

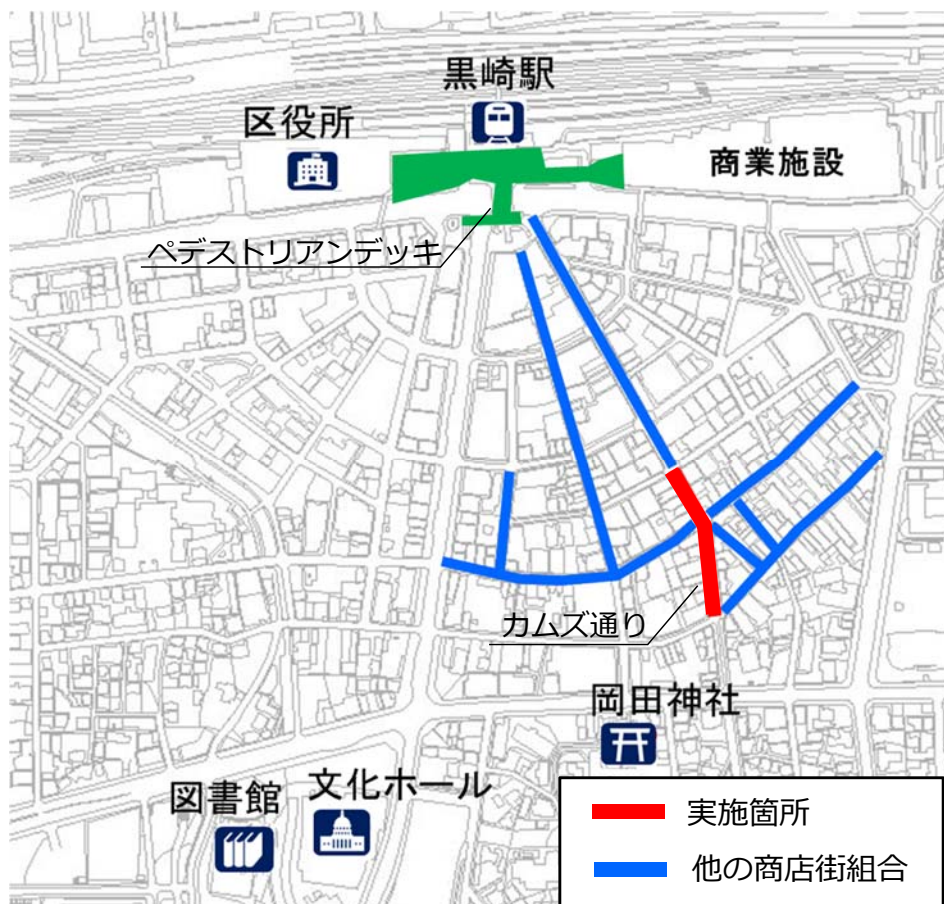
新たな価値の創造

実施団体（民間構成員）

ツグタウン
tugu.town黒崎実行委員会

実施箇所

カムズ通り（商店街アーケード道路）



目標

- ・ 買い物するだけでなく、人々が憩い、交流できる通りへ
- ・ 新たな雇用や様々な客層でにぎわう活気あふれる通りへ

オープンカフェ・マルシェ

- ・ 北九州近郊の魅力ある飲食物、雑貨を販売
- ・ 障害者施設の作品を販売
- ・ 若手作家のスタートアップの場としても活用
⇒雇用とにぎわいを創出
- ・ イスやテーブル等のくつろげるスペースを設置
⇒通行人の交流、憩いの場を創出

これまでに一時的な道路占用で試行を4回実施



オープンスペースでの「目に見えるおもてなし」により、通行人は足を止め、買い物や交流を楽しんでいた

特区の活用により、継続的なにぎわいづくりが可能に！

カムズ通りをきっかけに黒崎地区の商店街に新たな人の流れをつくる